

岡田勉カルテット <ヒコのリベン バンド>

JAZZ

< HIKONORIBEN Band >

個々においても大活躍を続けている豪華メンバーによるカルテット。ライブでは常に、バッチッと息の合った姿を見せてくれるベテラングループ。全国的に活動中。



● 峰厚介 ●
(tenor saxophone)
Kosuke MINE



● 野力 奏一 ●
(piano)
Souichi NORIKI



● 岡田 勉 ●
(bass)
Tsutomu OKADA



● 村上 寛 ●
(drums)
Hiroshi MURAKAMI

1944年東京生まれ。言わずと知れた重鎮サクソプレーヤー。63年ジャズクラブでの演奏開始以降、69年の菊地雅章バンド入団など、絶えず第一線での活躍を続けている。71年からはテナーをも吹き始める。78年に本田竹広らと結成したネイティブ・サンで大人気を博した後も、自身のグループの他、Four Sound, J.J Spirits, 渋谷毅オーケストラなどで精力的に活動している。リーダーアルバム以外の参加も多く、その数は40に及ぶ。

1957年京都生まれ。74年に父親のフルバンド参加で始動。77年からジョージ川口バンド等でセッションを重ねる。渡辺貞夫、日野皓正、山下達郎らのツアー参加など多忙な日々を送る中、多くのアーティストのアルバムにピアニスト、アレンジャーとして参加。さらに映画音楽(森田芳光監督「キッチン」「ハル」など)をも手がける才能を発揮。その後も、寺井尚子の初アルバム参加や、ケイコ・リーバンドで活動の他、松木恒秀、鈴木良雄、大野俊三などのバンドで活動をしている。

1948年愛媛生まれ。参加作品は、日野皓正、渡辺貞夫、増尾好秋、本田竹曠、与世山澄子、益田幹夫、山本剛、峰厚介、綾戸智絵、トゥーツ・シールマンス、リー・コニッツなど多岐に及ぶ。さらに大森明、大友義雄、向井滋春、日野元彦、ケイコ・リーなど共演は数え切れない。まさに日本ジャズ界のド真ん中を歩いてきた一人。過去には、ルー・タバキン来日ツアーへの参加も。イツセー尾形の舞台への参加などの面も持つ。活動を拡大させつつも、ライブに軸足をのいた姿勢をキープし続けている。

1948年東京生まれ。67年に本田竹広トリオで活動を始め、菊地雅章6、ゲイリー・ピーコックトリオ、渡辺貞夫カルテットなどに参加。その後も、マル・ウォルドロン、山本邦山など国内外のミュージシャンとアルバムを発売している。峰と同じく、当時大活躍したネイティブ・サンのメンバーでもある。さらにFour Soundのプロデューサー兼メンバーも務めた。ケイ赤城トリオ、佐藤允彦、峰厚介、増尾好秋、穂吉敏子らとの共演など、その活動は絶え間ない。



1stアルバム

「HAPPINESS」

TOAST TBCJ-07121



2ndアルバム

「Zan Zaux」

TOAST TBCJ-10041

峰厚介 <http://www.aomori-net.ne.jp/~yamagen/mine/top.htm>

野力 奏一 <http://www.noriki-studio.co.jp/family.html>

岡田 勉 <http://www.ben-okada.com/>

村上 寛 <http://ameblo.jp/hmd314/>



TOAST